

比田防災拠点施設整備基本計画

令和5年2月
安来市消防本部

I 事業概要

1 事業名称

比田防災拠点施設整備事業

2 事業目的

複雑化する災害に対応し、市民の生命、身体及び財産を守り、消防体制の充実強化を図るため、本市の消防防災活動拠点施設の1つとして比田分駐所の新築移転及び地域防災の要となる安来市消防団比田分団の拠点施設整備、散水が必要ない臨時離着陸場（以下ヘリポートとする）を整備することを目的とする。

3 事業内容

ヘリポート、安来市消防署広瀬分署比田分駐所庁舎、安来市消防団広瀬方面隊比田分団消防拠点施設、付属棟、外構の設計業務（基本設計及び実施設計）及び造成・建設業務

4 事業予定地

安来市広瀬町西比田地内

総面積 4,148 m²のうち比田分駐所庁舎及び消防拠点施設建設予定地約 400 m²

5 事業スケジュール

令和4年度 基本計画策定

令和5年度 基本設計、実施設計、土地購入、旧トスカ工場棟解体、
住民説明、現比田分駐所跡地利用について検討

令和6年度 ヘリポート整備、安来市消防署広瀬分署比田分駐所移転新築、安来市消防団広瀬方面隊比田分団拠点施設新築、スクールバス車庫の移転新築

令和7年度 安来市消防署広瀬分署比田分駐所解体

6 概算事業費

基本設計・実施設計業務委託	26,100,000 円
土地購入費	21,180,000 円
旧トスカ工場棟解体工事	80,000,000 円
造成工事	60,000,000 円
比田分駐所及び消防拠点施設新築工事	190,000,000 円
スクールバス車庫新築工事	8,500,000 円
現比田分駐所解体工事	6,300,000 円
合 計	392,080,000 円

II 建設計画

1 計画の経緯

旧トスカ工場棟は、市町村合併後に安来市が取得し用途について検討するも決まっていなかった。また、建物の老朽化が著しく、地元から除却の請願が出され早急な対応が必要となっている。

そのような中、令和3年度に見直した安来市公共施設等総合管理計画において、ヘリポート(ドクターヘリの臨時離着陸場)として整備する方針を示している。

この方針に基づいて、令和4年度において基本計画の策定を進めてきたが、周辺には老朽化した公共施設もあることから、住民の利便性や地域防災機能の充実を図るため、地域の総合的な防災拠点として比田分駐所の移転と比田分団の消防拠点施設をあわせて整備する計画とした。

2 ドクターヘリの現状

(1) 市内ヘリポートについて (令和5年1月1日時点)

41か所 (内訳：安来地区21か所、広瀬地区15か所、伯太地区5か所)

(2) ドクターヘリを要請する場合の消防本部の動きについて

①通信指令課は、ヘリポートを選定し、管理施設に電話連絡をする。

(ヘリポートの選定について)

現場に直近のランデブーポイントを選定するが、ドクターヘリ及び地上支援隊の到着時刻及び散水が必要ないヘリポートを考慮し、選定をする。

②ドクターヘリを安全に離着陸させるため、地上支援隊（消防隊）が出動。

（地上支援隊の活動内容について）

- ・散水が必要なヘリポートの場合は、消防車で散水を行う。
- ・離着陸の支障となる飛散物の撤去、ヘリポートの気象状況及び周囲の状況をドクターヘリへ報告し、救急隊の後方支援を行う。
- ・状況によって、現場へ医師を搬送するなどの活動を実施。

③地上支援隊が間に合わず、救急隊が先にヘリポートに到着した場合は救急隊で地上支援を行い、ドクターヘリを離着陸させる。

（３）ドクターヘリの運用実績について

	ドクターヘリを要請した救急出動件数	地区別ヘリポート着陸件数			ヘリポートを使用しなかった件数
		安来	広瀬	伯太	
令和４年	１５４	１０２	１８	３	３１
令和３年	１６９	１０１	２８	５	３５
令和２年	１１９	６６	２６	３	２４

（比田分駐所管轄エリアにおけるドクターヘリ運用実績）

（西比田、東比田、梶福留、西谷、奥田原）

	比田分駐所救急出動件数	ドクターヘリを要請した救急出動件数	ヘリポート別着陸件数					ヘリポートを使用しなかった件数
			飯梨川富田右岸河川敷	比田小学校	布部ふれあいグラウンド	山佐運動広場	旧奥田原小学校	
令和４年	５７	１０	２	１	５	１	１	０
令和３年	５４	５	０	０	１	１	０	３
令和２年	４０	１０	１	１	４	１	０	３

(4) 比田地区のヘリポートの現状

比田地区には、比田小学校校庭、東比田運動場の2か所のヘリポートがあるがどちらも地表面が転圧土のため、原則地上支援隊による散水が必要である。そのため、初動要請があればドクターヘリを上空待機させ、地上支援隊による散水後、着陸し、救急隊と医師が接触している。

今回新たに整備するヘリポートをアスファルト舗装にすることにより地上支援隊による散水が不要になる。

3 施設整備の基本的な考え方

(1) 旧トスカ工場棟撤去について

敷地内全ての建物、工作物、外構、アスファルト舗装、及び埋設配管を解体撤去し更地にする。

解体建物には、石綿含有材及び特別管理産業廃棄物が疑われるため、早急な調査が必要である。

(2) 敷地整備について

建物を除く敷地全体をアスファルト舗装とする。

東側について、ブロック擁壁+張コンクリート施工によりドクターヘリの着陸可能面積を確保する。電線、電柱の撤去を行う。転落防止のフェンスを設ける。ダウンウォッシュ対策として防風壁を設ける。

南側について、国道432号とのアクセスのための出入口は設けないこととする。安来市の土地である用悪水路を土木建設課、農林整備課より所管替えし、造成工事を行う。転落防止のフェンスを設ける。ダウンウォッシュ対策として防風壁を設ける。立木の撤去を行う。

西側について、比田デイサービスセンターがあるため、ダウンウォッシュ対策として、防風壁を設ける。併せて防音対策も行う。

北側について、市道西比田線へどの位置からでも出られるようにする。

(3) ヘリポートについて

着陸場所を35m四方から40m四方確保できるスペースとしアスファルト舗装とする。

(4) 比田分駐所・比田分団拠点施設について

業務部分、車庫倉庫部分を含め鉄骨造、平屋建て延床面積は400㎡程度とする。

①比田分駐所

・勤務体制：

従来と変更なく8時30分から17時15分までの勤務とする。

・車庫：

位置は建物の東側とし、市道西比田線側へ出動とする。(消防車1台、救急車1台)

・執務室：

事務所は事務机及び書類ラックを設ける。(出動時無人となるため、一括施錠とする)

・出動時動線：

事務所から車庫間に防火衣装着スペースを設け出動準備がスムーズにできるような動線にする。

・研修・会議室：

消防団を含む各種会議、訓練、災害時待機場所等に活用できるスペースとする。

・訓練室：

一部男性職員の更衣場所を設けるが、多目的に利用できるスペースとする。

・女性更衣室：

女性職員も勤務可能にするため、更衣室等の場所を設ける。

②比田分団消防拠点施設

・車庫：

位置は建物の西側とし、市道西比田線側へ出動とする。(小型動力ポンプ付積載車1台、防火衣掛け、収納スペース)

③施設内共有部

- ・トイレ：

男女トイレは、消防職員、消防団員の共有とする。多目的トイレは庁舎施錠中の使用も可とする。

- ・駐車場：

敷地北側と西側に職員駐車場も含め整備する。

- ・その他：

敷地北東側に自転車置場、土のう・砂置場、ホース乾燥塔を設ける。

(5) スクールバス車庫移転について

旧トスカ工場内には比田小学校のスクールバスの車庫があり、旧トスカ工場棟跡地整備には支障をきたすため、別場所に移転とする。移転先については、今後教育総務課と協議を行っていく。

(6) 現比田分駐所の跡地利用について

新しく完成した比田分駐所へ移転後現在の比田分駐所は解体撤去し跡地利用を検討していく。

跡地利用の候補として①スクールバス車庫の移設先、②比田交流センターの駐車場、③その他